

平成 24 年度 日本腰痛学会評議員会議事録

日時 平成 25 年 10 月 31 日(木) 17:30~18:30

会場 パレスホテル東京 4 階 山吹

議長：持田 譲治 会長

出席者：理事 15 名、評議員 38 名

会長挨拶

持田会長より、第 21 回日本腰痛学会は、応募演題 162 題のうち 154 題を採択したことが報告された。

議事

I. 報告事項

1. 庶務報告

1) 平成 24 年度事業報告

(1) 学術集会の開催

第 21 回学術集会が平成 25 年 11 月 1 日(金)、2 日(土) の 2 日間 JP タワーホール&カンファレンス(会長 持田 譲治 先生)で開催予定である。

(2) 委員会の開催

平成 25 年 10 月 31 日 理事会、評議員会、11 月 2 日編集委員会が開催予定である。

(3) 学会誌の発行

平成 25 年 6 月 25 日に JSR 第 4 巻 6 号を発行した。投稿論文数は 17 編である。内容は一般投稿 13 編、学会の主題からの特集 4 編である。

(4) 会員の動向

大西正康先生、河合憲一先生の 2 名が健康上の理由で評議員を退任されたことが報告された。

平成 25 年 10 月 17 日現在の会員数は 853 名、名誉会員 15 名、特別会員 9 名、新入会者 73 名、退会者 25 名であることが報告された。また、物故会員 3 名

(田中 賢治 先生、平成 25 年 9 月 26 日ご逝去、高瀬 佳久 先生、平成 25 年 3 月 1 日ご逝去、工藤 厚 先生、平成 24 年 11 月 7 日ご逝去)について報告された。

II. 審議事項

1. 平成 24 年度決算報告

配付資料に基づき決算報告が行われ、中井修監事から会計監査結果が報告され、承認された。中井監事から、委員会費について、日帰りが可能な場合の宿泊費についての妥当性について質問があり、理事とのメール審議で検討することとなった。

2. 平成 25 年度の事業計画、予算案審議

学術集会開催、学会誌発行、委員会開催予定および予算案が提出され、承認された。

1) 第 22 回学術集会の開催

会長 高橋和久 先生（千葉大学大学院整形外科学 教授）

日時 平成 26 年 11 月 15（土）、16 日（日）予定

場所 幕張メッセ国際会議場

千葉市美浜区中瀬 2-1

2) 学会誌発行 JSR 第 5 巻 6 号

平成 26 年 6 月 予定

3) 委員会の開催

評議員会、理事会：平成 26 年 11 月

編集委員会：平成 26 年 11 月

3. 役員・評議員の推薦

新理事

波呂浩孝先生 山梨大学医学部整形外科

宮本雅史先生 日本医科大学多摩永山病院整形外科

新評議員

渡辺雅彦先生 東海大学医学部外科学系整形外科学

浅野 聡先生 東埼玉総合病院 埼玉脊椎脊髄病センター

中野恵介先生 高岡整志会病院 整形外科

が推薦され承認された。

新会員

村田広志 理学療法士 医療法人光善会 長崎百合野病院

竹内雄一 理学療法士 医療法人社団松下会 白庭病院

森下詔子 看護師

和歌山県立医科大学付属病院紀北分院

の3名が推薦され承認された。

3. 次々々期会長の選出について

山梨医大波呂先生を推薦し、理事会で承認されたことが報告され、全会で承認された。

4. 2013年優秀論文賞について

17編の論文について、選考委員会による厳正な審議の結果、福島県立医科大学整形外科二階堂琢也先生の論文“腰部脊柱管狭窄の腰痛に対する除圧術の効果—歩行負荷試験で誘発される症状による解析—”に決定したことが報告された。

その他

紺野事務局担当理事より、会員増加に伴って法人化を目指すこと、それに沿った会則の変更を行うこと、会員の定年制、医師以外の会員に関する内規について検討していくことが報告された。会則と企画に関する各委員会を作成して、検討していく方向であることが報告された。また、学会ホームページを作成することが報告された。

遠藤評議員から、現在、論文作成は和文で行っているが、本学会から英語で発信できるものを考えてはどうかとの提案があった。また、新規手術を申請するにあたり、データベースを作成する必要がある。脊椎脊髄病学会で頸椎から腰椎まで担当しているが、腰椎に関して腰痛学会で担当することも検討してはどうかとの提案があった。

持田理事より、腰痛ガイドラインについて、メディアから整形外科医だけではなく統計学者など医師以外の専門家が参加しなくてよいのかという指摘があったこと、今後、改訂や新規のガイドラインを作成するときには考慮する必要があるとの発言があった。

III. 次期会長挨拶

第22回日本腰痛学会会長の高橋和久先生が、会期は平成26年11月15日、16日、幕張メッセで開催予定であること、テーマを腰痛の科学とする旨を報告した。

第23回日本腰痛学会会長として山縣正庸先生が、平成27年11月14日、15日で東京での開催を予定していること、Spine week(側弯症学会、脊椎インストルメンテーション学会)とは別開催とする予定であると報告した。